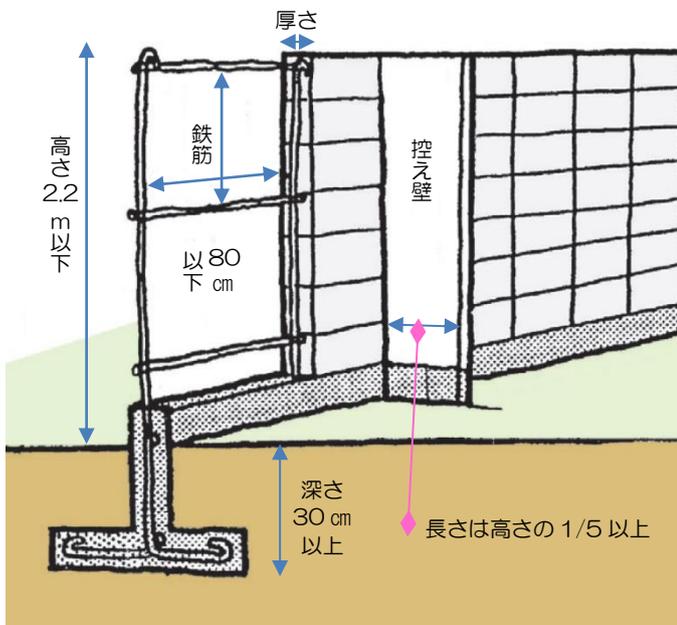


～塀の安全化措置について～

区では、平成30年6月に発生した大阪府北部地震における、塀の倒壊被害を踏まえ、道路沿いのブロック塀等について点検調査を実施し、塀の安全化指導・啓発に取り組んでいます。

点検調査の結果、ブロック塀等に『法の基準の不適合や構造耐力に影響がある問題事項がある』ため、下記チェックポイントを参考に塀の状況を確認してください。また、より詳細な調査として専門家に相談し、ブロック塀等の除去など安全化措置を講じるようお願いいたします。(裏面参照)

ブロック塀の点検のチェックポイント

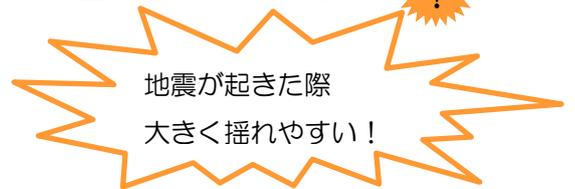


※基礎形状は地盤により検討する

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか 
 - 塀の高さは地盤から 2.2m 以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か 
 - 塀の厚さは 10 cm 以上か。(塀の高さが 2m 超 2.2m 以下の場合には 15 cm 以上)
- 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが 1.2m 超の場合)
 - 塀の長さ 3.4m 以下ごとに、塀の高さの 1/5 以上突出した控え壁があるか。 



- 4. 基礎があるか
 - コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か 
 - 塀に傾き、ひび割れはないか。
ひび割れは雨水が入り中の鉄筋が錆びやすい
- 6. 塀に鉄筋が入っているか
 - 塀の中に直径 9mm 以上の鉄筋が、縦横とも 80 cm 間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
 - 基礎の根入れ深さは 30 cm 以上か。(塀の高さが 1.2m 超の場合)

組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から 1.2m 以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ 4m 以下ごとに、塀の厚さの 1.5 倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

〈専門家に相談しましょう〉

- 6. 基礎の根入れ深さは 20 cm 以上か。

注意表示のお願い

ブロック塀の除去などの安全化措置を行うまでの間、下記の例を参考に、付近通行者への速やかな注意表示を行ってください。（下記参考）



問い合わせ先

・専門家による詳細な調査が必要な方

（一社）東京都建築士事務所協会（新宿支部）にて建築士事務所のご紹介が頂けます。

※調査費用については、事前にご確認ください。

一般社団法人 東京都建築士事務所協会 新宿支部

新宿区新宿 1-23-5 サンサーラ御苑ビル 304

電話番号：03-6380-0275

・ブロック塀の改修・解体業者をお探しの方

新宿区リフォーム協議会にて施工業者のご紹介が頂けます。

ブロック塀の除去等の助成制度を活用される方は助成要件を事前に区担当窓口にてご確認の上お電話にてご相談内容をお伝えください。

新宿区住宅リフォーム協議会

代表窓口：東京土建一般労働組合新宿支部

電話番号：03-3362-2161

区担当窓口

ブロック塀等安全化業務全般に関すること

担当窓口：新宿区 都市計画部 建築調整課

電話番号：03-5273-3107（直通）

ブロック塀等の除去への助成について

担当窓口：新宿区 都市計画部 防災都市づくり課 耐震担当

電話番号：03-5273-3829（直通）